

令和2年度 事業報告

鈴鹿市シルバー人材センターでは、高齢者に対して、長年培った豊かな経験と知識、技能を活かすことのできる就業機会を提供し、高齢者の社会参加を図ることにより、健康の維持・増進や生きがいづくりを促進するとともに、活力ある地域社会づくりに寄与してきました。

令和2年度は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大というこれまでに経験したことのない事態の中、平成29年度に策定しました「中期計画」に掲げた実行計画に沿って、特に、「会員の拡大」「就業機会の拡大」「安全就業の徹底」等を重点項目として会員と役職員が一丸となって事業に取り組みました。

まず、会員の拡大では、定例の入会説明会に加え、地域に出向いて入会説明会を開催しました。また、新たに会員加入紹介者報奨費支給制度の創設、テレビ広告及び市広報広告の実施に取り組んだほか引き続き市コミュニティバスラッピング広告、電柱広告等により、シルバー人材センターをPRし会員確保に努めましたが、3月末の会員数は799人で、前年度の831人を下回りました。

就業機会の拡大では、定期的な事業所訪問に加えて、新たに家庭等へのチラシ配布を行うことにより、受注開拓に取り組みましたが、新型コロナウイルスの影響により、請負、派遣とも実績は前年度を下回りました。

安全就業対策としては、安全適正就業委員会で計画した安全就業パトロールや職群班による安全講習会を実施し、会員の安全就業意識の高揚を図り事故防止に努めました。就業に係る事故の発生状況については、昨年度と比較すると人身事故が減少しましたが、物損事故は増加し、物損、人身を合わせた総事故件数は増加となりました。

また、安定した事業運営を続けていくために、「適正就業の徹底」、「組織体制の強化」等に取り組むとともに、計画的かつ効果的な事業運営に努めました。

各事業については、体温測定、消毒やソーシャルディスタンスの確保などコロナ感染対策を徹底して実施しましたが、当センターや関係団体の事業の中には、規模を縮小し開催したもの、リモートにより開催されたもの、あるいは中止を余儀なくされたものもありました。

以下、令和2年度の事業実施状況と事業実績について報告します。

I 事業実施状況

1 就業機会の拡大と提供

会員及び入会申込者の就業機会を確保するため、就業機会創出員を4名配置し、事業所を訪問することに加え各家庭へチラシを配布することにより、新たな就業先の開拓に努めた結果、令和2年度は15件の新規契約を獲得し

ました。

また、事業所に対して適正就業ガイドラインの説明を行い、請負や派遣業務における就業先の開拓に努めました。

2 会員の増強

令和2年度は、玉垣、稲生、飯野、石薬師、河曲及びふれあいセンターの6か所の各公民館を会場として、地域説明会を開催するとともに、センターにおいて毎月1回、定期的に入会説明会を開催し、シルバー人材センターの周知と入会者の勧誘に努めました。

また、新たに会員加入紹介者報奨費支給制度を創設し、会員自らが入会者の勧誘を行うなど、一層の会員確保に努めました。

その他、ハローワークなど関係機関が開催する説明会に参加し、新規会員の入会を促進しました。

3 福祉・家事援助サービスの推進

福祉・家事援助に係る発注に対して、質の高いサービスを提供するために、事業所訪問や関係機関・団体等との情報交換、リーダー会議等を通して、発注者のニーズや就業会員の就業状況の把握に努めました。

また、福祉・家事援助サービス班の会員を対象に、スキルアップや健康維持のための講習会を開催しました。

その他、今後増加が予想される高齢者世帯等の困りごと（ゴミ出しなど）のお手伝いに従事していただける会員を把握するため、会員全員にアンケートを実施しました。

平成29年度から始まりました鈴鹿市の介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスB）については1件実施しました。

4 普及啓発活動

シルバー人材センター事業の目的や事業内容を広く市民に周知するため、以下の普及啓発活動を行いました。

- (1) 会報「シルバーすずか」を年2回（8月、12月）発行するとともに、全国シルバー人材センター事業協会の機関誌(月刊シルバー人材センター)を関係機関等に配布しました。
- (2) 市広報「すずか」10月5日号に、シルバー人材センターの特集記事を掲載しました。
- (3) 新聞等報道機関に当センターの様々な取組みを情報提供しました。
- (4) 電柱、Cバスのラッピング及び市広報等への広告掲載によりPRを行いました。
- (5) 就業を通じた普及活動として、ネーム入りベストの着用や啓発物品の

作成によるPRを推進しました。

5 安全適正就業と健康管理

安全就業と健康管理のために、会員向けの安全講習会では、作業中の事故防止の徹底と安全意識の高揚を図るため、スライド等を利用して会員に注意喚起をしました。健康管理については、「日頃の動作から体力の老化予防をめざす体操」や「ストレッチリラックス」などの健康講座を開催し、会員の健康維持に努めました。

また、安全・適正就業委員会で計画した安全就業パトロールを年7回実施して、就業現場での指導、指摘及び助言を行いました。

さらに、新たな会員を対象に行う就業説明会においても、安全適正就業について講習を行いました。

令和2年度事故発生状況については、昨年度と比べて物損事故は、13件増加の25件、人身事故は、9件減の15件となりました。

適正就業については、事業所を訪問し、法令遵守及びガイドラインの説明を行い、請負の形態によることが適切でないものについては、派遣へ移行するよう依頼しました。

6 教育訓練の充実

運転業務従事者を対象に、必要な知識を習得し安全で適正な就業を行うため、交通安全講習を開催しました。

7 技能講習会の開催

当センター主催の独自講習会等を開催するとともに、三重県シルバー人材センター連合会が、シルバーでの就業を希望する市民を対象として、就業に必要な知識及び技能を付与することを目的として開催する高齢者活躍人材確保育成事業技能講習を共同で実施しました。

(1) 独自講習会

剪定技能講習

(2) 高齢者活躍人材確保育成事業技能講習会

公園管理就業体験

(3) 会員向け技能講習会

剪定技能講習会

8 中期計画の検証

中期計画の進捗と目標値の達成状況を検証するため、中期計画推進委員会を開催し、各事業の課題と今後の展開について検討しました。

9 調査研究活動

各種機関・団体が主催する会議や研修会・講習会等に会員・役職員が参加し、情報交換を密にするとともに、事業運営に必要な知識の取得、資質の向上を図りました。なお、本年度の会議及び研修会の多くは、新型コロナウイルス感染対策によりリモート（zoom）により開催されました。

また、就業機会の拡大と提供のために、就業機会創出員が関係団体の研修会に参加しました。

さらに、シルバー派遣事業の充実を図るために、関係団体が開催する研修会等に職員が参加し、能力の向上を図りました。

なお、先進シルバー人材センター等の視察については、コロナの影響から実施を見合わせました。

10 組織体制の強化

シルバー人材センターの自主運営体制を推進するため、会員組織の充実や機能強化を図りました。

特に、職群班はセンターの理念である「自主・自立、共働・共助」を支える重要な組織として位置付け、リーダー会議等を通して職群班の運営・活動の充実に努めました。

また、地域班設立準備のための調査、研究を行いました。

11 地域貢献の推進

「シルバー福祉・家事援助サービス月間」において福祉・家事援助サービス班による公共施設の除草清掃ボランティア活動を実施しました。